

## 全小学校に「放課後子ども教室」の設置を

町長…効果的なやり方を慎重に研究します。



青木 久子 議員

少子化対策として社会全体で支える子育て支援の充実が必要。「放課後子ども教室」の考えは、教育と福祉の両分野から、安全・安心な子どもの居場所づくりに国も県も、子育て応援する推進事業を予算化した。すべての児童が対象で、学びや体験の場「放課後子ども教室」が柱。県内の35



児童館で元気に遊ぶ放課後の子ども達

市町村で運営委員会設置小学校区ごとのプランを策定し、地域ボランティア指導者研修会を聞く。当町には放課後児童クラブの設置すら1ヶ所しかない。すべての児童に格差のない環境づくりをどう考えるのか。教育委員長 教育委員会には図っていないが、次年度、町部局とともに仮称「放課後子どもプラン運営委員会」を設置し、ブランドデザインを提示したいと考えています。現在の状況としては、「ふたば学童保育」へは89名、ほとんど大石田小の児童に集中していますので、保健福祉課部局とも合意形成を図り、来月早々に討議していきたいと考えています。町長 平成19年度から新たな政策の「放課後子どもプラン」は「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」を一体的に連携して実施します。町教育委員会の事業として「放課後子ども教室」を、町内全域の児童を対象に実施する予定です。



家族でお雑見

「放課後児童クラブ」は、従来のふたば児童クラブに加え、新たに1ヶ所が増えたので支援します。なお、放課後における安全な居場所を身近に確保するため、保護者や地域ボランティアなどで新たな児童クラブの設立を計画する際には、公共施設の使用等については積極的に支援をします。

本来の子育ての基盤は家庭であります。町が肩代わりするものではないと思いますので、どのようなニーズがあるのか実態を把握し、効果的なやり方を慎重に研究していきたいと考えています。



子育て支援の充実を（ふたば横山保育園入園式）



村形 昌一 議員

## 出産祝い金制度の充実はいつからか

町長：早い時期に第2子以降の祝い金増額を実施したい

町長の給与50%削減の内訳は。町長 給与41万円に合わせ、退職手当負担金17万円、共済組合負担金等7万4千円を加え月額65万4千円で、年額784万円の減額になる。なぜ、退職金が満額か。総務企画課長 町の特例条例の規程でなっている。出産祝い金制度の充実として第2子に10万円、第3子に15万円支給すると公約したが、いつからの支給となるのか。また、額の根拠はどこからか。町長 順次拡充していくことを約束したので、必要財源を確保して、なるべく早期に実施したい。額は、他市町を参考に一つの試案の金額と考えて

いる。保育料の減額や学校給食費を無料にすれば、長い期間この町に住んでいて良かったと思ってもらえるのではないかと。町長 色々方法論はあるが、財政上の問題をクリアしなければならぬ前提がある。食育とかかわりの中で、給食費はよりよい方法を求めるべく改善を重ねていかなければならないと思っている。冬期間のスクールバスも負担の重い地域があると聞く。町長 各地域で協議会をつくり運行しているものに町は補助している。管理課長 町では1人目で20%、2人目で40%補助しています。

加藤国洋県議の総決起大会では、県知事と尾花沢市長が来賓として招かれ談笑していた。私は、その場に町長がいれば町のためにもなったと思う。政治家は選挙が重要なものだと思うので、勝利が見込まれる方の集まりには出て、近隣市町村の政治家とも友好的にしてほしい。町長 ご指導うけたまわっております。

りをしていくことが必要だと考えるが、町長のいう「協働」とは何か。町長 字のごとく協力し合ってお互いが町づくりのために働いていくことで、ご理解いただき、力を出して直接行動に結び付けていただくことだと思っています。町長の公約にはいいところがいっぱいあるので、任期中、早期に公約が実現できるように頑張りたい。

